

福島県 子どもたちの甲状腺超音波検査結果と 穿刺細胞診（せんしさいぼうしん）本格検査 2015年9月30日現在

福島県	番号	市町村名	対象者人数	一次検査受診者	一次検査結果確定者	B判定人数	C判定人数	二次検査対象者	二次検査実施者	二次検査結果確定者	穿刺細胞診受診者	悪性、悪性疑い例数	2015年6月30日現在の悪性、悪性疑い例数
2014年度1次検査実施	1	川俣町	2,460	1,729	1,722	20	0	20	18	17	1	0	0
	2	浪江町	3,772	2,325	2,233	27	0	27	22	21	3	2	2
	3	郡山	1,123	750	747	14	0	14	11	10	1	0	0
	4	南相馬市	12,982	8,530	8,412	74	0	74	62	59	12	3	2
	5	伊達市	11,742	9,004	8,974	83	0	83	74	72	9	7	6
	6	田村市	7,221	4,827	4,804	50	0	50	40	39	6	2	2
	7	広野町	1,108	623	561	8	0	8	7	7	0	0	0
	8	福島市	1,489	918	851	4	0	4	4	4	0	0	0
	9	富岡町	3,101	1,749	1,652	23	0	23	16	12	1	0	0
	10	川内村	360	201	192	2	0	2	1	1	0	0	0
	11	大熊町	2,499	1,554	1,476	10	0	10	10	9	2	1	1
	12	菅野町	1,258	588	556	2	0	2	0	0	0	0	0
	13	楳尾村	240	141	136	2	0	2	2	2	0	0	0
	14	福島市	55,734	41,971	41,382	326	0	326	270	263	46	8	8
	15	二本松市	10,597	7,664	7,644	54	0	54	44	43	4	1	1
	16	本宮市	6,343	4,692	4,681	31	0	31	26	21	3	2	1
	17	大玉村	1,684	1,234	1,232	4	0	4	4	4	0	0	0
	18	郡山市	66,751	45,589	45,381	340	0	340	231	186	25	10	11
	19	桑折町	2,137	1,571	1,557	14	0	14	9	8	1	1	1
	20	飯沼町	1,624	1,197	1,189	8	0	8	6	6	0	0	0
	21	天栄村	1,101	766	766	11	0	11	3	2	1	0	0
	22	白河市	12,674	9,053	9,034	55	0	55	41	36	3	1	0
	23	西郷村	4,173	2,996	2,994	24	0	24	17	14	2	0	0
	24	泉崎村	1,337	937	937	2	0	2	1	1	0	0	0
	25	三春町	3,183	2,298	2,297	23	0	23	13	12	0	0	0
小計			216,793	152,907	151,410	1,211	0	1,211	932	849	120	38 (甲状腺乳がん人数不明、 未手術者数不明)	25 (甲状腺乳がん19名、 未手術10名)
2015年度1次検査実施	26	いわき市	64,285	22,395	11,951	113	0	113	14	3	2	1	0
	27	須賀川市	15,877	10,573	9,012	70	0	70	29	5	0	0	0
	28	南相馬市	7,086	4,327	4,327	20	0	20	14	3	0	0	0
	29	須賀町	2,705	1,828	1,655	12	0	12	4	2	0	0	0
	30	磐前町	1,476	964	935	13	0	13	7	1	0	0	0
	31	中島村	1,115	99	99	3	0	3	2	1	0	0	0
	32	矢吹町	3,419	342	339	9	0	9	5	4	0	0	0
	33	石川町	2,951	150	149	3	0	3	1	1	1	0	0
	34	矢野町	1,055	38	37	0	0	0	0	0	0	0	0
	35	滝川町	1,392	86	86	3	0	3	3	3	1	0	0
	36	早田村	1,270	79	78	1	0	1	0	0	0	0	0
	37	柳田町	3,085	142	140	3	0	3	1	1	0	0	0
	38	楳町	1,716	87	85	2	0	2	2	2	0	0	0
	39	飯川村	723	20	20	0	0	0	0	0	0	0	0
	40	小野町	1,986	168	166	3	0	3	1	1	0	0	0
	41	玉川村	1,370	126	126	1	0	1	0	0	0	0	0
	42	吾妻町	1,078	47	44	0	0	0	0	0	0	0	0
	43	楳枝村	110	49	48	0	0	0	0	0	0	0	0
	44	南会津町	2,913	1,436	598	6	0	6	4	0	0	0	0
	45	会津町	203	98	3	0	0	0	0	0	0	0	0
	46	昭和町	134	57	2	0	0	0	0	0	0	0	0
	47	三春町	195	81	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	48	下郷町	1,010	509	20	0	0	0	0	0	0	0	0
	49	喜多方市	9,235	95	57	0	0	0	0	0	0	0	0
	50	西会津町	1,054	10	5	0	0	0	0	0	0	0	0
51	只見町	735	414	155	3	0	3	0	0	0	0	0	
52	猪苗代町	2,757	1,405	914	5	0	5	3	3	0	0	0	
53	磐梯町	628	307	183	0	0	0	0	0	0	0	0	
54	北相馬町	581	275	95	0	0	0	0	0	0	0	0	
55	会津美里町	3,658	36	23	1	0	1	0	0	0	0	0	
56	会津東下郷町	3,081	35	26	0	0	0	0	0	0	0	0	
57	柳津町	611	272	45	0	0	0	0	0	0	0	0	
58	会津松本市	22,989	308	222	1	0	1	1	0	0	0	0	
59	湯川村	676	7	6	0	0	0	0	0	0	0	0	
小計			163,159	46,865	31,137	272	0	272	91	30	4	1 (甲状腺乳がん人数不明、 未手術者数不明)	0
合計			379,952	199,772	182,547	1,483	0	1,483	1,023	879	124	39 (甲状腺乳がん15名、 未手術者24名)	25 (甲状腺乳がん6名、 未手術19名)

注) 2011年度実施 福島県一環状20km以内および計画的避難区域に居住した子ども16名は手術の結果、悪性腫瘍であったので、悪性、悪性疑い例数を15名ではなく、14名とした。一環15日福島県「国民健康調査」検討委員会「甲状腺検査」の実施状況について(2014年5月19日) pp.8-9

注) B判定 - 5.1mm以上の結節や30.3mm以上のうぶを認められたもの。A2 (5.0mm以下の結節または20.0mm以下のうぶを認められたもの) の判定内容でも、甲状腺の状態等から二次検査を要すると判断した場合、B判定としている。 C判定 - 甲状腺の状態等から判断して、直ちに二次検査を要するもの。一環11日「第12回福島県「甲状腺検査」検討委員会「甲状腺検査」の実施状況について」注) 福島県および福島県立医科大学は2013年11月8日、二次検査結果集計後に多数の誤りがあったことを公表した。これは資料作成時の「数値の誤集計(計上漏れや計上)」。「データを分類する際の担当者の誤集計による誤り」が原因であるという。特に大きな誤りは福島県の穿刺細胞診をした子ども数だが2013年8月20日発表は67人だったが、2013年11月8日では77人と10人も増えている。同時に西郷村の穿刺細胞診を受けた人数が1人から6人になっている。2013年8月20日の時点で西郷村では小児甲状腺がんおよび疑いが1人発見されているが、この子どもの穿刺細胞診を行っていない、ということはあるのだろうか？この統計自身の信頼性が疑問が残る。

注) 本検査 (2015年6月30日現在) から本検査 (2015年9月30日現在) で、4 南相馬市の悪性ないし悪性疑いが2人から3人へ1人増えている。同時に、5 伊達市の悪性ないし悪性疑いが6人から7人へ1人増えている。同時に、16 本宮市の悪性ないし悪性疑いが1人から2人へ1人増えている。同時に、18 郡山の悪性ないし悪性疑いが1人から10人へ9人増えている。同時に、22 いわき市の悪性ないし悪性疑いが1人から1人へ1人増えている。同時に、26 いわき市の悪性ないし悪性疑いが1人から1人へ1人増えている。注) 本検査 (2015年6月30日現在) から本検査 (2015年9月30日現在) で、本宮市の対象者が5,771から5,772へと1人増えている。同時に、福島市の対象者が55,732から55,734へと2人増えている。同時に、二本松市の対象者が10,597から10,597へと1人増えている。同時に、本宮市の対象者が6,342から6,343へと1人増えている。同時に、郡山市の対象者が66,749から66,751へと2人増えている。同時に、桑折町の対象者が2,704から2,705へと1人増えている。同時に、磐前町の対象者が1,475から1,476へと1人増えている。同時に、中島村の対象者が1,079から1,115へと36人増えている。同時に、矢吹町の対象者が3,277から3,419へと142人増えている。同時に、石川町の対象者が2,951から2,951へと0人増えている。同時に、滝川町の対象者が1,340から1,392へと52人増えている。同時に、早田村の対象者が1,270から1,270へと0人増えている。同時に、柳田町の対象者が3,085から3,085へと0人増えている。同時に、楳町の対象者が1,716から1,716へと0人増えている。同時に、飯川村の対象者が723から723へと0人増えている。同時に、小野町の対象者が1,937から1,986へと49人増えている。同時に、玉川村の対象者が1,370から1,370へと0人増えている。同時に、吾妻町の対象者が1,078から1,078へと0人増えている。同時に、楳枝村の対象者が110から110へと0人増えている。同時に、南会津町の対象者が2,913から2,913へと0人増えている。同時に、会津町の対象者が203から203へと0人増えている。同時に、昭和町の対象者が134から134へと0人増えている。同時に、三春町の対象者が195から195へと0人増えている。同時に、下郷町の対象者が1,010から1,010へと0人増えている。同時に、喜多方市の対象者が9,235から9,235へと0人増えている。同時に、西会津町の対象者が1,054から1,054へと0人増えている。同時に、只見町の対象者が735から735へと0人増えている。同時に、猪苗代町の対象者が2,757から2,757へと0人増えている。同時に、磐梯町の対象者が628から628へと0人増えている。同時に、北相馬町の対象者が581から581へと0人増えている。同時に、会津美里町の対象者が3,658から3,658へと0人増えている。同時に、会津東下郷町の対象者が3,081から3,081へと0人増えている。同時に、柳津町の対象者が611から611へと0人増えている。同時に、会津松本市の対象者が22,989から22,989へと0人増えている。同時に、湯川村の対象者が676から676へと0人増えている。

注) 5 伊達市で二次検査実施者が本検査 (2015年6月30日現在) から本検査 (2015年9月30日現在) で、74名→74名で増えている。同時に、田村市で二次検査実施者が40人→40人で増えている。この3月で甲状腺の結節が5mmを超える子どもに対して、新たに二次検査を受けた子どもが6人と不自然である。

【出典】第20回福島県「国民健康調査」検討委員会 2015年6月31日 (2015年6月30日現在)

資料2-1 国民健康調査「甲状腺検査(先行調査)」結果集計【確定版】

資料2-2 国民健康調査「甲状腺検査(本格調査)」実施状況

第21回福島県「国民健康調査」検討委員会 2015年11月30日 (2015年9月30日現在)

資料2 国民健康調査「甲状腺検査(本格調査)」実施状況

【編集】川根 啓佑 内閣府を考慮する市民研究会 <http://www.radiationexposuresociety.com/>

福島県 子どもたちの甲状腺超音波検査結果と
 穿刺細胞診（せんしさいぼうしん）**本格検査の推移**
 2015年3月31日現在、6月30日現在、9月30日現在

福島県	番号	市町村名	2015年3月31日現在での 悪性、悪性疑い例数	2015年6月30日現在での 悪性、悪性疑い例数	2015年9月30日現在での 悪性、悪性疑い例数
2014年度1次検査実施	1	川俣町	0	0	0
	2	浪江町	1	2	2
	3	飯館村	0	0	0
	4	南相馬市	1	2	3
	5	伊達市	3	6	7
	6	田村市	2	2	2
	7	広野町	0	0	0
	8	楡葉町	0	0	0
	9	富岡町	0	0	0
	10	川内村	0	0	0
	11	大熊町	1	1	1
	12	双葉町	0	0	0
	13	葛尾村	0	0	0
	14	福島市	6	8	8
	15	二本松市	1	1	1
	16	本宮市	0	1	2
	17	大玉村	0	0	0
	18	郡山市	0	1	10
	19	桑折町	0	1	1
	20	国見町	0	0	0
	21	天栄村	0	0	0
	22	白河市	0	0	1
	23	西郷村	0	0	0
	24	泉崎村	0	0	0
	25	三春町	0	0	0
	小計		15 (甲状腺乳頭がん5名、 未手術10名)	25 (甲状腺乳頭がん19名、 未手術10名)	38 (甲状腺乳頭がん人数不明、 未手術者数不明)
2015年度1次検査実施	26	いわき市	未実施	0	1
	27	須賀川市	未実施	0	0
	28	相馬市	未実施	0	0
	29	鏡石町	未実施	0	0
	30	新地町	未実施	0	0
	31	中島村	未実施	0	0
	32	矢吹町	未実施	0	0
	33	石川町	未実施	0	0
	34	矢祭町	未実施	0	0
	35	浅川町	未実施	0	0
	36	平田村	未実施	0	0
	37	棚倉町	未実施	0	0
	38	塙町	未実施	0	0
	39	蛟川村	未実施	0	0
	40	小野町	未実施	0	0
	41	玉川村	未実施	0	0
	42	古殿町	未実施	0	0
	43	檜枝岐村	未実施	0	0
	44	南会津町	未実施	0	0
	45	金山町	未実施	0	0
	46	昭和町	未実施	0	0
	47	三島町	未実施	0	0
	48	下郷町	未実施	0	0
	49	喜多方市	未実施	0	0
	50	西会津町	未実施	0	0
	51	只見町	未実施	0	0
	52	猪苗代町	未実施	0	0
	53	磐梯町	未実施	0	0
	54	北塩原町	未実施	0	0
	55	会津美里町	未実施	0	0
	56	会津坂下町	未実施	0	0
	57	柳津町	未実施	0	0
	58	会津若松市	未実施	0	0
	59	湯川村	未実施	0	0
	小計		未実施	0	1 (甲状腺乳頭がん人数不明、 未手術者数不明)
総計			15 (甲状腺乳頭がん6名、 未手術19名)	25 (甲状腺乳頭がん6名、 未手術19名)	39 (甲状腺乳頭がん15名、 未手術者24名)

【出典】第19回福島県「県民健康管理調査」検討委員会 2015年5月18日（2015年3月31日現在）

資料3-1 県民健康調査「甲状腺検査（先行調査）」結果概要【暫定版】

資料3-2 県民健康調査「甲状腺検査（本格調査）」実施状況

第20回福島県「県民健康管理調査」検討委員会 2015年8月31日（2015年6月30日現在）

資料2-1 県民健康調査「甲状腺検査（先行調査）」結果概要【確定版】

資料2-2 県民健康調査「甲状腺検査（本格調査）」実施状況

第21回福島県「県民健康管理調査」検討委員会 2015年11月30日（2015年9月30日現在）

資料2 県民健康調査「甲状腺検査（本格調査）」実施状況

【編集】川根 貴也 内部被ばくを考える市民研究会 <http://www.radiationexposuresociety.com/>

【解説】福島の子どもの小児甲状腺がん 川根眞也（内部被ばくを考える市民研究会）

福島県、日本政府は、原発事故3年の「短い期間」では小児甲状腺がんは発症しないとし、2011年度浜通り、2012年度中通り、2013年度会津いわきの甲状腺超音波検査を「先行検査」として、切り離して報告しています（表面をご覧ください）。この「本格検査」は2014年4月1日以降の検査です。「先行検査」に次ぐ、二巡目の検査になります。

2015年11月30日、第21回福島県 県民健康管理調査検討委員会が開かれましたが、この151人に及ぶ小児甲状腺がんの記事を載せたのは、朝日（12刊）、毎日（12/1朝刊）、東京（12/1朝刊）、福島民報（12/1）、福島民友（12/1）です。読売は記事にすらしませんでした。

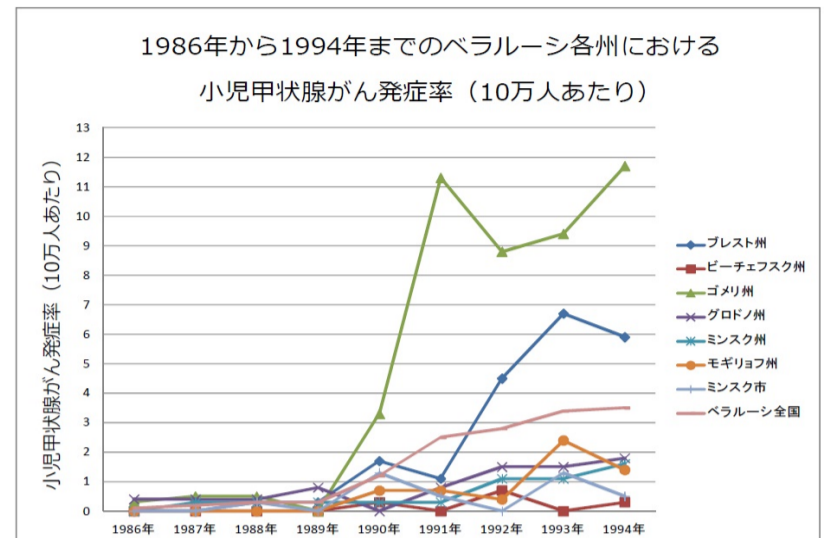
「先行検査」で見つかった小児甲状腺がんは112人、2015年6月30日までの「本格検査」で見つかった小児甲状腺がんは25人、合計137人です。

福島県立医大が小児甲状腺がんのまとめを行っていますが、手術を終えた子どもだけを「甲状腺がん確定」として、穿刺細胞診で悪性を診断されまだ手術を終えていない子どもを「甲状腺がん疑い」と発表しています。しかし、この手術を終えた114名中、穿刺細胞診で悪性とされた子どものうち、手術で良結節とされた子どもは1人です。穿刺細胞診で悪性とされた子どものうち99%は甲状腺がんと考えることができます。「悪性および悪性疑い」として発表されているのは、151名（先行検査112名ー良性結節1名を除く、本格検査39名、計151名）です。川根は今後、この151名を甲状腺がんの子どもとして報道するべきであると考えます。

14福島市をご覧ください。2015年9月30日で「悪性および悪性うたがい」、つまり甲状腺がんにかかった子どもは8人。3月31日現在では6人でした。つまり、2014年4月からの1年で6人、2015年4～9月の半年で2人の小児甲状腺がんの子どもが見つかった、ということです。年間では6人または4人が発症したということです。平均では年5人になります。福島市の対象者（原発事故当時0～18歳の子ども）は約5万5000人です。つまり、10万人あたりに直せば、5人の2倍、年間10人（10万人あたり）の発症率。これはチェルノブイリの高い放射能汚染地帯である、ベラルーシのゴメリ州の爆発的な発症率、年間11人（10万人あたり）に匹敵する発症率です。高能汚染地帯からの子どもたち、妊婦を始めとする住民の避難を行うべきです。

川根眞也 kawane@radiationexposuresociety.com

『ベラルーシ・プロジェクト報告』700円 ベラルーシの小児甲状腺がんの診断と治療の実際を記録。高い放射能汚染地帯ゴメリ州、廃村になった村、立ち入り禁止の森の空間線量の測定の写真を掲載。ベラルーシと日本のヨウ素131の汚染状況を比較。右のグラフも掲載。



※ データはGrmbicki、他による。小児甲状腺がん診断時に3～15歳だった患者の10万人あたりの発症率。

【出典】 Iodine Deficiency in Belarusian Children as a Possible Factor Stimulating the Irradiation of the Thyroid Gland during the Chernobyl Catastrophe Maciej Gembicki, Aleksander N. Stozharov, Aleksander N. Arinchin, Konstantin V. Moschik, Siegiiej Petrgiej Petrenko, Irina M. Khmara, and Keith F. Baverstock

【編集】川根 眞也